

平成23年度事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人 国際ボランティアセンター山形

1 事業の実施と成果に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業の種類／事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
アジア地域等の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力活動 ／カンボジア王国スバイリエン州野菜供給・流通システムの構築事業	<p>【内容】</p> <p>野菜農家を組織化することで、スバイリエン州の野菜の供給と流通システムが形成され、農家の収入向上を目指した。</p> <p>【成果】</p> <p>野菜供給協会（VSA）として国境カジノホテルに出荷していた組織は、組合登録をするにあたって「スバイリエン農産物組合」（Svay Rieng Agro-Products Cooperative）（メンバー306名）として新たに再出発した。首都への野菜出荷と首都の市場内における直販店運営を開始し、月に約4トンの出荷をするようになった。同時にIVYのプノンペン事務所も開設された。</p> <p>事業開始時には平均2種類だった野菜の栽培品目が終了時に4種類になり、野菜販売からの収入は年間平均141ドルから205ドルになった。また組合の出荷量も2トンから4トンへと倍になった。</p>	平成23年4月1日～平成24年3月31日	カンボジア王国スバイリエン州	16人	スバイリエン農産物組合のメンバー306名	23,841
アジア地域等の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力活動 ／カンボジア王国スバイリエン州村の女性の起業支援事業	<p>【内容】</p> <p>ILO（国際労働機関）とのパートナー事業として「女性工場労働者の経済的エンパワーメント」事業の一部を委託。縫製工場に勤める可能性のある女性、勤めている女性、勤めをやめた女性計400名を対象に、生計向上を目指した。</p> <p>【成果】</p> <p>20村において22のセービンググループが形成され、総計2,069ドルが貯蓄された。起業トレーニングを全グループに行い、ローンは一部メンバーの収入向上のためのビジネスに使われた。また、当事業の結果を踏まえ、女性たちがより多くの収入を得られるように、4グループにおいて家畜または稲作の研修を行うことを提案し、パイロットプロジェクトとして2月からビジネスグループ形成が始まった。</p>	平成23年4月1日～平成24年3月31日	カンボジア王国スバイリエン州の20村	2人	対象地域の女性約200名	1,603

<p>アジア地域等の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力活動 ／カンボジア王国スバイリエン州農村貧困地域における女性組合形成事業</p>	<p>【内容】 スバイリエン州チャムカーチェック村で女性組合が米銀行の運営を開始。メンバーが自立運営能力をつけることを目指した。 【成果】 3つの相互扶助グループが形成され、貯蓄活動を開始した。</p>	<p>平成23年7月1日～平成24年3月31日</p>	<p>カンボジア王国スバイリエン州スバイチュレン郡スバイエ地区チャムカーチェック村</p>	<p>2人</p>	<p>50人</p>	<p>295</p>
<p>アジア地域等の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力活動 ／カンボジア王国スバイリエン州洪水被災者支援</p>	<p>【内容、成果】 9月から10月にかけて、メコン川の氾濫による洪水で家屋、農作物に被害を受けた被災世帯に対し、10月24日被害を受けた農産物出荷組合メンバー24名に米30kgと野菜の種を支給。次いで10月25日、洪水で自宅から避難している農家542世帯へ米15キロとブルーシートを支給した。</p>	<p>平成23年10月1日～10月31日</p>	<p>カンボジア王国スバイリエン州</p>	<p>5人</p>	<p>566世帯</p>	<p>1,225</p>
<p>山形県内で定住を目指す外国人等とその家族に対する適切な医療援助、並びに医療通訳の養成及び紹介事業 ／外国人生活相談事業</p>	<p>【内容、成果】 相談件数：54件 国籍別：中国20件、韓国4件、フィリピン6件、日本9件、行政8件、学校5件、その他2件 内容別：通訳7件、夫婦・家庭問題7件、教育・日本語9件、仕事7件、手続き5件、医療・福祉4件、その他14件</p>	<p>平成23年4月1日～平成24年3月31日</p>	<p>日本国内</p>	<p>8人</p>	<p>54人</p>	<p>9</p>
<p>山形県内で定住を目指す外国人等とその家族に対する適切な医療援助、並びに医療通訳の養成及び紹介事業 ／通訳養成事業</p>	<p>【内容、成果】 ①法律勉強会 講師：遠藤涼一弁護士 参加者14名 出身国別：日本4、中国4、台湾1、韓国2、ブラジル1、フィリピン2 ②中国語通訳学習会 11回実施 参加延べ人数52名、内容：連帯保証人、未成年後見人、養育料、自首と出頭、改訂入管法、相続、「移住する中国人」「放射能に塩で対応」「新世代農民工」「震災後の結婚ブーム」「中国式離婚」日本と中国の教育の違い、2011年中国十大大事件、心の病気、日本のワクチン事情等</p>	<p>平成23年4月1日～平成24年3月31日</p>	<p>山形市、鶴岡市、新庄市</p>	<p>8人</p>	<p>①14名 ②52名</p>	<p>3</p>
<p>山形県内で定住を目指す外国人等とその家族に対する適切な医療援助、並びに医療通訳の養成及び紹介事業 ／通訳翻訳事業</p>	<p>①通訳派遣 44件：司法27件 医療・保健12件 その他5件 ②翻訳 37件（中国16、英語11、韓国7、タガログ2、スペイン1）</p>	<p>平成23年4月1日～平成24年3月31日</p>	<p>日本国内</p>	<p>8人</p>	<p>①44人 ②37人</p>	<p>873</p>
<p>山形県内で定住を目指す外国人等に対する日本語学習支援及び日本語学習支援ボランティアの養成事業 ／就労支援事業</p>	<p>【内容・成果】 ①体験者に聞く：私の仕事探し 話題提供者 フィリピン出身 湯村さん ②年金学習会 講師：山形年金事務所 小形氏、井上氏 就労した外国出身者：7名</p>	<p>平成23年10月29日、11月15日</p>	<p>山形市男女共同参画センターファースト研修室1、山形年金事務所</p>	<p>9人</p>	<p>①8人 ②7人</p>	<p>465</p>

<p>山形県内で定住を目指す外国人等に対する日本語学習支援及び日本語学習支援ボランティアの養成事業 ／日本語教室運営事業</p>	<p>①実施回数：38回（当初40回を予定したが、会場の工事・東日本大震災の影響で2回減） 学習者（延べ）：韓国人 61人、タイ人30人 ②スピーチコンテスト 発表者：5名（アメリカ2、タイ1、中国2） 来場者：50～60名</p>	<p>①時間：毎週木曜 午前10時から2時間 ②2月11日</p>	<p>①上山市働く婦人の家 ②上山市「古窯」</p>	<p>8人</p>	<p>11名 英国1名×4カ月、韓国4～8名×11カ月、タイ1名×3カ月、中国1名×2カ月</p>	<p>110</p>
<p>山形県内で定住を目指す外国人等に対する日本語学習支援及び日本語学習支援ボランティアの養成事業 ／母語教育事業</p>	<p>①楽しい子ども中国語教室 33回実施、学習者（小2～小6の5名） ②南山形小学校：8回実施 8月から中国にルーツを持つ6名の児童に加え、日本人児童23名も参加。 ③子どもの支援研修会 講師：高橋朋子さん ④親子で体験する中国文化教室 講師：鈴木玲子さん 第1回 きり絵 第2回中華まん＆中華スープづくり</p>	<p>①金曜夜7時～8時半 ②放課後 ③10月15日10時～3時</p>	<p>①山形市立東部公民館、②南山形小学校 ③とかみ共生苑 ④南山形コミュニティセンター</p>	<p>8人</p>	<p>①5名 ②29名 ③11名 ④11名</p>	<p>72</p>
<p>地方都市における多文化理解を高めるための講座等の企画運営事業 ／地球子どもキャンプ事業、リーダー養成講座</p>	<p>「自然エネルギー」をテーマに、太陽光電池を使った実験、未来のエコハウス図の制作等を行った。リーダーは11月から企画に着手し、当日は運営の全てを担当、けが人も出ず、無事終了した。</p>	<p>平成24年1月4日～6日</p>	<p>山形市少年自然の家</p>	<p>4人</p>	<p>小学生79人、大学生36人</p>	<p>2,971</p>
<p>アジア地域等の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力活動 ／カンボジア王国スパイリエン州算数教育支援事業</p>	<p>【内容・成果】 ・算数ドリルは、新たに小学2年生分上下2種類を作成。スパイリエン州の2校に配布した。昨年2～3月渡航から、対象校の先生方とドリルの効果的な使用法について検討するワークショップを行っており、先生方からは様々な意見が出された。学力テストの結果からは2年生の学力が全体的に大幅に向上していることがうかがえる。活動している州、地区の教育行政機関からは高い評価をいただいております、今後も新しい学年のドリルの作成、対象校の拡大を行ってほしいとの要請を受けた。</p>	<p>平成23年4月1日～平成24年3月31日</p>	<p>カンボジア スパイリエン州スパイリエン郡チュールティール地区アンクサット小学校 仙台市、山形市</p>	<p>15人</p>	<p>約400人</p>	<p>977</p>

<p>アジア地域等の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力活動／東日本大震災支援事業</p>	<p>【内容】 3月11日に起きた東日本大震災の支援活動（物資配達）を通じて、4月に入ってから「仕事がほしい」という声があちこちから聞かれるようになった。しかし、基盤産業である水産業を始めとして、人々の生活を支えてきた職、職場が壊滅状態となっており、被災者が仕事に就くことは難しい状況にあった。そこで、IVYとしては、「雇用」を生み出すことが復興への鍵であると考え、石巻市は4月12日、気仙沼市は同22日に被災者を瓦礫撤去作業等に直接雇用し、集まった寄付から賃金を払う、「キャッシュ・フォーワーク」事業を開始した。 当初は、地元の復興と雇用者に日銭でお金を渡し暮らしを支えることが目的となっていたが、最終的な目的は雇用者の再就職であり、徐々に職業訓練（インターン）、資格取得、企業セミナーなども行っていった。</p> <p>【成果】 （1）雇用人数 112名（石巻事務所46人、気仙沼事務所66人）年齢15～68歳 平均年齢35.7歳 （2）キャッシュ・フォーワークにおける作業件数・被災家屋や工場、畑などの清掃活動の実施…458件 ・朝市の開催（累計3040人の参加）…633回 ・高齢者の見守り…1923人（累計） 配食サービスの実施 342回 ・お茶会（朝市に併設）の開催…196回 ・仮設収納プロジェクトを実施…88戸 （3）体制 両事務所ともエリアマネージャーは地元から採用。9月からはプロジェクトマネージャーを採用し、事業の運営に当たった。 （4）再就職 事業のゴール「雇用した人の半数以上が再就職を出来ている」3月末日までに、65%の雇用者が再就職、7%が具体的な仕事の準備を始め、7%が進学、5%が企業という結果になり、雇用者の約84%が、プロジェクト後の進路を確保することができた。</p>	<p>平成23年4月1日～平成24年3月31日</p>	<p>宮城県石巻市、気仙沼市、東松島市、南三陸町、女川町、岩手県陸前高田市</p>	<p>7人</p>	<p>物資配達約20000人 失業者112名 作業件数・被災家屋や工場、畑などの清掃活動の実施…458件 ・朝市の開催（累計3040人の参加）…633回 ・高齢者の見守り…1923人（累計） 配食サービスの実施 342回 ・お茶会（朝市に併設）の開催…196回 ・仮設収納プロジェクトを実施…88戸</p>	<p>148,040</p>
<p>関連団体及び関係する県内、国際機関との情報交換、連絡調整及び協力、並びにこの法人の目的にかなう事業を行っている他団体に対する助成援助／NGO相談員事業</p>	<p>【内容・成果】 震災関連の相談も多く、20分野に亘り、669件の相談が寄せられた。</p>	<p>平成23年4月1日～平成24年3月31日</p>	<p>全国</p>	<p>3人</p>	<p>669人</p>	<p>3,154</p>

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額（千円）

世界各地の手工芸品、食料品等の販売 / アジア手工芸品の販売事業	休止				
日本語学習教材の出版 / ハングルを使う人のための生活漢字テキストの販売事業	休止				